

平和憲法  
施行70年

今こそ出番 ますます輝け

水戸で憲法フェスティバル

5月3日、水戸市内千波湖公園で「日本国憲法70年 今こそ出番 ますます輝け」をスローガンに掲げた『憲法フェスティバル2017』が開かれ、五月晴れの中、1300人が集いました。

主催は県内の平和団体・労働組合などで行われた実行委員会。広渡清吾・東京大学元副学長が「憲法施行70年平和主義・民主主

義・立憲主義を語る」と題して講演しました。

いま日本国憲法と日本社会が岐路に立たされており、なんとしても安倍政治に代わる新しい政治、市民が支える新しい政権を作り出そうと訴えました。

自民改憲案

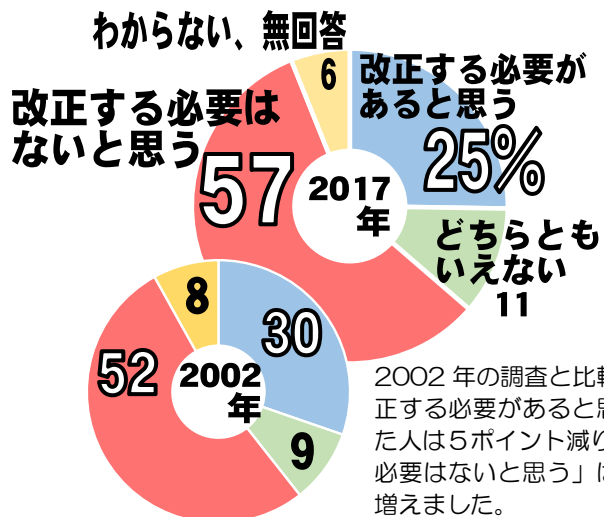
個人の尊厳うたった憲法の解体

安部政権が強行を狙う「共謀罪」法案について広渡さんは「処罰範囲や捜査権限を広げて市民の自由を制限する悪法」と断じました。自民党改憲案について「国の都合で国民の基本的な人権を否定し、個人の尊厳をうたった憲法の神髄を解体するもの」と批判。改憲を許さないため、市民と野党の共同を広げようと呼びかけました。



広渡東大元副学長語る「平和・民主・立憲主義」  
取手からも多数参加しました。  
広渡さんの話は、学者らしく理路整然とした話でスッキリと頭にはいりました！！

## 憲法9条の改正「必要ない」57%



2002年の調査と比較すると、「改正する必要があると思う」と答えた人は5ポイント減り、「改正する必要はないと思う」は5ポイント増えました。

NHK 世論調査「日本人と憲法 2017」から作成

## 安倍首相 改憲発言に、各紙が批判

安倍首相は憲法9条に、自衛隊を明記する改憲を行い 2020年に施行を目指すとの表明に全国紙、地方紙が一斉に批判の社説を掲げています。

「朝日」＝「改めるべきは9条ではない。安倍政権による一方的な解釈変更の方である」。「毎日」＝「改憲の真意をただした野党議員に首相が答弁を拒否し、『総裁

の考えは読売新聞の熟読を』とはあまりにも無責任。国会は何のためにあるのだ」。「中日」「東京」＝「戦争放棄と戦力不保持の理念を空文化する改正なら許してはならない」。「神戸新聞」＝「多くの人が安倍政権下の改憲に否定的なのは平和主義を揺るがしかねない政府、与党の動きを懸念するからだろう」

## 日本共産党 志位委員長が

### 首相改憲発言について見解

(5月11日、要旨)

5月3日、安倍首相が憲法9条を変える「ことを時期まで示し宣言した。これは憲法99条の天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ

極めて重大 9条2項「死文化」ねらう

首相は「9条1項2項を残し、自衛隊の記述を3項として書き加える」としているが、3項という独立した項目で自衛隊の存続理由が書かれれば、それを根拠にして自衛隊の役割がどんどん広がり、海外における武力行使は無制限となり、9条2項は死文化さ

との「憲法尊重擁護義務」に反する。  
加えて立法院（国会）に対する行政府（内閣）の不当な介入であり「三権分立の原則」に違反する違憲発言である。

市民と野党をつなぐ  
茨城3区市民連合

中野晃一さんと語る

「市民と野党の共闘でつくる立憲政治」

日時：6月18日(日)  
開場午後1時 開会1時30分

会場：取手福祉会館  
3F 講座室 A.B

参加費 資料代 500円





## 守ろう もの言える社会

# 「共謀罪」法案は廃案に！

**共謀罪 NO 違憲立法 力あわせやめさせよう**

大内衆院比例・小林3区予定候補連日街頭から



小林きょう子(左側)、大内くみ子(右側)各予定候補 取手市ヤオコー前

## 「テロ対策」は ウソ 国民の心のなかを処罰

「テロ等準備罪」＝「共謀罪」法案の審議で緊迫する国会情勢、国会前はじめ全国各地で、「テロ対策はウソ」「国民の内心まで処罰の対象」「国民監視のための戦時法制そのもの」など、廃案を求める世論と

運動が急速に広がっています。大内くみ子衆院北関東比例予定候補と小林きょう子茨城3区予定候補は、連日各地の街頭で“現代版治安維持法”「共謀罪」は廃案をと訴えています。

## 取手市議会による議会報告会開催

5月13日、取手市議会棟大会議室で平成29年度第1回「議会報告会～市議と話そう意見交換会～」が開かれ、議長あいさつに続き各常任委員会と予算特別委員会報告があり質疑応答。その後、総務文教・建設経済・福祉厚生に分かれ、参加者と議員のフリートーキングが行われました。

当日参加した方の声を紹介します。

- 市内公立中学生徒の自死について関係者から、学校・教育委員会は、「いじめはなかった」ということを前提とし「調査も不十分」、「父母に対し情報が寄せられない」等の意見が出され、市議会としての対応が求められました。委員長ら議会側は、今後しっかり取り組んでいきたいと答えていました。
- 取手駅東口構内バリアフリー化について、高齢化が進む中、安全で便利なバリアフリー化をしっかりとやってほ

- しい。今回提示された4案だけでなく、市民の声をよく聞いて整備してほしい。
- 駅西口治助坂周辺は、路上駐車が多いので改善してほしい。
- 食の環境が変わってきて、アレルギーを持つ子どもへの対応をしっかりとやってほしい。
- 通学路に、街路樹が生い茂り、これからは毛虫も心配、狭い道路を歩く児童は凸凹の側溝の上で危険、早急な整備をお願いしたい。



集会開会前にすでに会場は満員＝16日、日比谷野外公会堂・

5月16日午後6時半「共謀罪廃案、安倍政権の改憲暴走を止めよう！5・16集会」(総がかり行動実行委員会、共謀罪No！実行委員会共催)が東京日比谷野外音楽堂で行われ、集会后銀座までデモ行進しました。会場あふれる参加者4200人(取手からも20人以上)を前に、日本共産党、民進党、自由党、社民党、参院会派「沖縄の風」の野党議員が壇上に並び、各党代表が「共謀罪は廃案」「安倍改憲ストップ、安倍政権退陣を」と決意表明。中野晃一上智大教授、評論家の佐高信さん、日蓮宗教師の小野文雄さんらが連帯のあいさつを行いました。

**5・16集会 取手からも日比谷集会に参加**

## 北朝鮮問題

## 「対話による解決」が世界の流れ

5月14日、北朝鮮の弾道ミサイル発射に対し、日本共産党は厳しく抗議しました。この間、国際社会ではこの問題の解決方法は、「対話による解決しかない」とし、対話による解決の機運が広がっています。米国の「北朝鮮と対話の用意がある」との発言や、中国・ロシアが「6カ国協議(韓、米、中、露、日、北朝鮮)による対話」を呼びかける、などの変化です。韓国では「対話による解決」を訴えた文・新大統領政権が10日に誕生しました。

## 安倍政権は 外交努力での解決めざせ

ところが、安倍政権は、安保法制＝戦争法を発動して「米艦防護」を実施し、北朝鮮問題を利用し「戦争する国づくり」を進めるなど、対応の異様さが際立っています。

日本共産党は「6カ国協議で、対話と交渉による解決をめざす1つの流れがつけられつつある。経済制裁の強化と一体に外交交渉に踏み込み、北朝鮮に核・ミサイル開発をやめさせる取組みを」と改めて政府に求めました。

## 福島原発事故の放射能廃棄物濃度

昨年1月、環境省は茨城県に限り、福島原発事故による放射能等指定廃棄物の処分方法を「分散保管」とする方針を決定。日本共産党は「放射能がもれない建屋に厳重に保管する」等を申し入れました。

今年3月、環境省は、県内に3643トンある汚泥や飛灰の放射能濃度を再測定。取手市議会棟下の駐車場にブルーシートをかけ保管してあった2・5トンの汚泥濃度は、今なお11000Bq/kgで高萩市に続く県内2番目の高濃度です。今年4月に、市役所裏の敷地のコンクリートボックスに移し替えました。原発事故は収束していません。原発ゼロ、自然エネルギーへの転換を！

県内2番目に  
高い取手



上野たかし 県議